

2022年事業報告

2022年は新理事に藤堂高直を迎え、NEXT EDGEと銘打って今後の活動へのかじ取りが始まった。

また、21年度に実施を考えていた20周年記念事業を本年度実施することができた。認定NPO法人の更新を迎え手続きを開始した。従来から行ってきた事業も装いを改めて、新しいフェーズに入った一年であった。顧問契約アドバイザーを迎え、スタッフ全員が参加して、組織の基盤強化へ一歩を踏み出した。

全体

認定NPO更新：

12月1日 都の係官4名で現地視察あり、資料、数字はほとんど完璧にそろっていたため、いくつかの宿題を残したが、フェータルな瑕疵はなかった。

財務状況：

20周年記念の寄付と企業職員からの推薦で外資系企業から多額の寄付があった。

国際交流基金の支払が遅れた分と東京都の助成金の成果の評価が変わり増額になったことで収入が増えた。

作業の効率化：

メルマガをブラストメールに変更、サイボーズ、KINTONE、PEATIX、ZOOMなどのシステムを有効に使い、アプリを構築してスムーズな情報の流れと蓄積ができるようになってきている。

月に2回 全スタッフによるミーティングのほか各事業や懸案ごとに随時MTGを開いている。

NEXT EDGE：

20周年記念を機に組織の次代への受け継ぎを始める準備を開始した。

20周年記念事業：

滞りなく、すべての事業をホームページのリニューアルを除いて実施できた。記念冊子、シンポジウム3回（2021年10月、2022年5月、2022年10月）、絵画展、記念パーティー。ホームページリニューアルは積み残しがある。

基盤強化：

顧問契約アドバイザーを迎え組織としての基盤強化に取り組んだ。9月より週一回のオンラインでのコンサルを依頼、職員も含めてまず寄付や事業の収益性に対する体質を改善、寄付を受ける受け皿をコングラントに集約した（11月から）。

20周年記念事業

記念冊子 1000部作製

シンポジウム 3回実施

作品展 江夏画廊

記念パーティー 29名+スタッフ

 **20周年記念シンポジウム**
エッジのこれまで、NEXT EDGE

NEXT EDGE
#EDGEなミカタ

一部:宇野彰氏と藤堂栄子対談
思えば遠くに来たもんだ。20年前日本には
ディスレクシアの人はいないといわれていた!

二部:藤堂高直とディスレクシアな仲間たち
これからは僕らの時代だ

2022年10月29日15:30-17:00 ZOOM 無料

多才な男たち展
NPO 法人エッジ 20周年記念 特別企画展

ディスレクシアという才能 3名の異才を放つアーティストたちの作品を展示販売

会場:江夏画廊 Gallery Enatsu
会期:2022年10月22日(土)
~30日(日)
11:00~19:00
※期間中は閉館日なし
東京都港区麻布台3-1-5 日ノ暮ビル302

※売上の一部は
NPO法人エッジに寄付されます

Tel. 03-6426-5139
Mail: info@enartsu.co.jp
www.enartsu.co.jp



マッケンジー・ソーブ 藤堂 高直 西嶋 豊彦



※I 20周年記念

【5月22日 建築ワークショップ】

講師：藤堂高直

対象：9歳から15歳

参加：4名

募集方法：Peatix

場所：ヒューマンぷらざ、zoom

料金：3000円

【5月22日 ディスレクシアだから大丈夫!シンポジウム】

講師：藤堂高直

対象：当事者、子ども

参加：44名

募集方法：Peatix

場所：ヒューマンぷらざ

料金：一般 3000円、18歳まで 1500円

【10月29日 NPO発足20周年記念シンポジウム】

講師：宇野彰・藤堂栄子 対談

藤堂高直とディスレクシア当事者

対象：当事者、保護者

参加：50名

募集方法：Peatix

場所：zoom

料金：無料

20 周年記念行事収支

収入の部

単位:円

20 周年事業指定 寄附金	2021 年 21 名	698,000
同 上	2022 年 9 名	1,323,000
江夏画廊 絵画売上寄付	売上の一部	27,750
寄附金 合計		2,048,750
パーティー会費 現金	13 名	65,000
ピーティックス	16 名	80,000
パーティー会費 合計		145,000
飲み物売上	14 杯 @500	7,000
ご祝儀	3名	25,000
ホームページ改修予算	日本財団より	300,000
収入合計		2,525,750

支出の部

ホームページ改修		845,000
記念冊子発行		102,019
シンポジウム	謝金2名	40,000
パーティー	ケイタリング	219,931
余興 鏡味 仙成	手取り 5 万円	55,685
撮影費用		50,000
生花		11,000
シンポジウム・絵画展開催広告	Facebook	3,498
職員人件費	準備、当日	146,900
関係者交通費	準備、当日	18,098
会場往復配送費用		5,320
ネームタグ・寄付箱等消耗品		12,550
振込・集客サイト手数料		7,276
支出合計		1,517,277

収支	1,008,473
----	-----------

啓発:EDGE な見方

メルマガ

年 12 回、号外 3 回

ニュースレター

年 3 回

58 号 3/11 300 部

59 号 7/14 300 部

60 号 10/23 400 部、12/1 増刷 100 部

DX セミナー、シンポジウム (Peatix で集客、申し込み受付、支払、資料配布、確認メール送信)

71 回 1 月 ディスレクシアの基本の理解と支援・相談アセスメント	参加 10 名
72 回 2 月 相談アセスメント	参加 13 名
73 回 3 月 ディスレクシアの基本の理解と支援・LSA 養成講座入門コース	参加 9 名
74 回 4 月 ディスレクシアの基本の理解と支援	参加 17 名
75 回 5 月 「ディスレクシアだから大丈夫」出版記念シンポジウム(建築 WS 同日開催) ※1	会場参加 16 名 オンライン参加 44 名
76 回 6 月 ディスレクシアの基本の理解と支援・LSA 養成講座本コース	参加 8 名
77 回 7 月 相談アセスメント	参加 13 名
78 回 8 月 英語のアセスメント	参加 8 名
79 回 9 月 ディスレクシアとは?	参加 11 名
2022.10 月 20 周年シンポジウム ※2	参加 50 名
80 回 11 月 ディスレクシアとは?読み書き困難指導・支援講座	参加 7 名
81 回 12 月 ディスレクシアの人の英国留学について対談	

エンパワメント:エッジを活かす

BEAM(教科書の音声化):文部科学省委託事業

2014 年より文部科学省から受託し、教科書の音声化を実施し、無償で提供をしている。
従来の活動に加え、高校の教科書、子供向けワークショップ、ビデオ動画作成に取り組んだ。

2022(令和4)年度作製した音声教科書

- 小学校 計 58冊
- 中学校 計 35冊
- 高等学校 計 10冊 全103冊

2023(令和5)年度の活動計画

- ①改訂教科書データ製作、新規高校教科書製作、申請提供
- ②第43回全国学校図書館研究大会への参加
- ③BEAM 啓発夏休みイベント「きみのココロにあるものは？」
 - ・7 月 18 日 講師:ディスレクシアの絵本作家 梨屋アリエ
 - ・8 月 11 日 講師:東京都特別支援教室専門員 宮城郁代
- ④啓発動画作成・YOUTUBE 公開
- ⑤BEAM・ディスレクシア啓発動画コンテンツ作成・チラシ新規作成
- ⑥年2回検討委員会 開催場所:ZOOM
 - 第 1 回 5 月 30 日 19:00~21:00
 - 第 2 回 2 月 28 予定 19:00~21:00

相談・アセスメント: 集団アセスメントは日本財団助成事業

集団アセスメントを開始した。URAWSS English を開始した。アセッサーが育ち、対応できる日程が多くなった。

項目	2022 年事業報告
個別相談・アセスメント	目標: 相談年間 96 件、アセスメント年間 96 件 実績: 相談 92 件、アセスメント 89 件 宣伝をしなくても、定期的に申し込みが入っている。
集団アセスメント	今年からの新しい企画。 2カ所で実施を目標としていたが、星槎高校と港区の2カ所で行うことができ、合計 110 名のアセスメントを実施できた。 アプリ開発、アセスメント手法開発。 上記2ヶ所に加え小田原の有志の先生方が現在学校で集団アセスメントをやる計画
アセッサー養成講座	3回行う予定で2回実施済、3月にもう1回実施予定 各 10 名募集のところ2回で 18 名の参加あり。 現在5名がエッジでアセッサーを行えるためのトレーニング中
収支について	収入: 日本財団より 429 万円 相談・アセスメントより 200 万円 収入合計: 629 万円 支出合計: 540 万円 支出内訳: アセスメントキット代、アセッサー養成講座の講師謝礼、アセッサー謝金、スタッフ人件費、通信費、集団アセスメントのボランティア謝金など。

DX 会 (成人当事者の会)

- 4/30 第 93 回 DX 会 端午の節句企画 場所) 東小金井 参加数) 3 人
6/25 第 94 回 DX 会 文豪達の住居跡 場所) 文京区千石 参加数) 4 人
8/20 第 95 回 DX 会 鎌倉聖“池”巡礼 場所) 大船駅周辺 参加数) 6 人
10/29 第 96 回 DX 会 発足 20 周年記念シンポジウム 場所) 江夏画廊 参加数) 3 人(zoom)
12/3 第 97 回 DX 会 エルサレムアティチョーク採収、チップス作り 場所) 二子玉川 参加数) 4 人

EDGE の味方-味方を増やす

人材育成

MOOC は富士通から受け継ぎ、エッジ内で「読み書き指導・支援講座」として e-ラーニングコースを開始。

LSA 入門講座は e-ラーニングコースのリニューアルを行った。本コース伸び悩み。修了者のコミュニティーを開始。

1. 事業の成果

2022 年は 2 つの講座（コンテンツ）を新規提供した。

『LSA（学習支援員）養成講座・入門コース』を 9 年ぶりにリニューアルし、全 8 講座を代表藤堂栄子が担当した。各回『本コース（LSA（学習支援員）養成講座・本コース）の学習内容』について触れ、次コースへの導線を作った。

外部委託で提供していたコンテンツを引き取り『読み書き困難指導・支援講座』として 2022 年 1 月から自団
体で提供を始めた。講座修了後のアンケート調査では、満足度 4.8 ポイント（5 段階評価）という評価を得た。
講座テキスト『子どもの味方の「教え方」～気づいてほしい読み書きの困難』の売れ行きも好調だった。

事業の実施に関する事項事業内容	事業実施日	場所 実施形式	従事者 人数	受益 対象者 範囲	受益 対象者 人数	事業 収入 (千円)	事業 支出 (千円)
LSA（学習支援員） 養成講座・入門コース	4月1日～8月 31日	e-learning	5名	一般 教職員 支援者 保護者 大学生	68名	2,349	2,278
LSA（学習支援員） 養成講座・本コース	7月31日～ 2023年1月 29日	オンライン	3名	一般 教職員 支援者 保護者 大学生	31名		
読み書き困難 指導・支援講座	①1月4日～ 4月10日 ②4月1日～ 6月30日 ③12月1日～ 2023年2月 28日	e-learning	4名	一般 教職員 支援者 保護者 大学生	105名	1,913	1,243